



平成<sup>26</sup>年<sup>2</sup>月<sup>13</sup>日

まちづくり意見提案書

柴田町長 殿

(提案者) 氏名 吉村章  
 住所  
 電話番号

次のとおり提案します。

1	提案の名称	「花と水のさくらの町」
2	現状・課題	町のさくらは知名度は高く、現在、さくら歩道橋敷設工事、河川敷を整備中ですが、まだ、駅周辺の観光開発が出来ていません。 駅と土手内周辺の河川敷を開発して、観光客の集客増を図る必要があります。
3	目 標	駅後方の河川敷をイベント会場に開発、一般者も参加できる場所を提供し、現在の河川敷工事用道路をそのまま生かすことにより、桜ロードが2本できる。 河川敷側道路に町内会単位の「茶店」を桜まつり期間中開店、町内会独自のおもてなしを日本全国（外国含む。）観光客に提供。 一桜大橋から大河原町まで整備し、一目千本桜ロードをつくる。
4	意見提案の内容	1. 土手内の河川敷放牧地を駐車場に改修。（取り付け道は、さくら大橋工事道路を改修） 2. 土手の現在道路と河川敷右岸道路のさくら観賞用道路が2本になり、イベントや屋台場所を提供できる。 3. イベント・屋台における収益を経費に充てる事ができる。 4. JR東北と大河原町と協力態勢をとることによって、桜ロードを整備（船岡のさくら始点から大河原の終点まで桜鑑賞し、帰りは大河原駅から船岡駅まで電車にて桜電車鑑賞移動できる祈念切符を発売。）その逆コースもあり、一部を経費に充てる。 5. 町内会単位で「茶店」を開店、町内会単位での特色のあるおもてなしを提供し、リピーター客を掘り起こす。町全体のまつりにする。 6. 将来は、夜でもイルミネーション街道に発展させ全国的な観光地に開発・発展させる。